

Felix88 杯 第4回 U-15 山口ジュニアゴルフチーム対抗戦

競技方法

★チーム 4 名がそれぞれティーショットを打ちます。セカンドショット以降は、チーム 4 名のボールのうち、チームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点から 4 名が打ちます。選択されなかったボールは速やかにピックアップします。これをカップインまで繰り返します。

★先の打順のプレーヤーのショット又はパットがカップイン（この時点でスコアは確定）した場合でも、以降の打順のプレーヤーがショット又はパットをすることができます（練習ストロークとはみなしません）。但し、これらのショット又はパットのためにプレーを不当に遅延させてはいけません。

・使用ティーについて

男子 13 歳～15 歳（2024 年 4 月 1 日時点）

女子 //

男女 12 歳以下（2024 年 4 月 1 日時点）

青ティー

白ティー

赤ティー

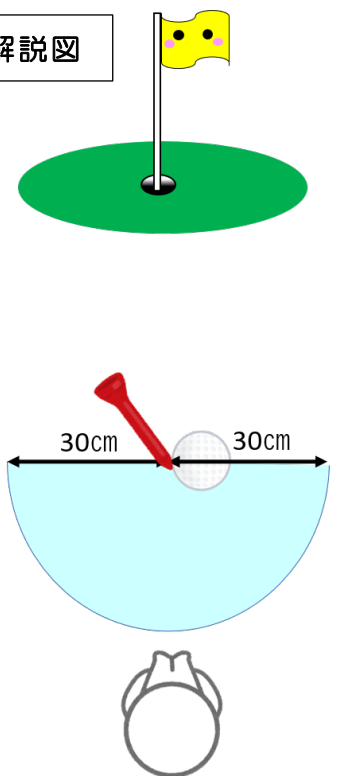
・ティーショットの制限

1. ティーショットは、18 ホール（ショートホール含）のうち、1 人最低 3 ホールのティーショットを選択しなければなりません。
2. 最終ホールをホールアウトした時点でこの条件をクリアできていない場合は、1 ホールにつき 2 罰打を付与します。この罰打は最終ホールから順次付与します。
3. ティーショットが 4 名とも OB となった場合、チームとして打ち直しの特設ティー（設置してある場合）の使用を選択しなければなりません。この場合、誰のティーショットを選択するかは、チーム内で自由に選択することができます。

・ティーショットからグリーンまで

1. 打順はチーム内で自由に決めることができます。
 2. ティーショットは 4 名全員が打ちますが、3 ホールの選択制限のため、あるプレーヤーのティーショットを選択しなければならない場合、他のプレーヤーはティーショットを打たなくてもかまいません。
 3. セカンドショット以降は 4 名のベストポジションと思われるボールを選択します。
- ※ 4. 選択されなかったボールは速やかにピックアップし、選択したベストポジションのボールの横にティーベッグでマークします。そのティーベッグからホールに近づかない半径 30 cm の半円の中に自分のボールをプレースし、4 名が打ちます。その際、拾い上げたボールは拭くことができます。
5. ボールをプレースしなければならない半径 30 cm の半円のエリアのうち、ボールをプレースする箇所は、ボールが止まっていたコースエリアと同一のコースエリアとします。例えば、バンカーに止まっていた球を選択した場合、30 cm 以内にジェネラルエリアがあったとしても、バンカー内にプレースしなければなりません。
 6. バンカー内のボールを選択した場合は、1 人が打つごとにそのバンカーは均すことができます。
 7. マークしたティーベッグは最後の選手がボールをプレースするまで取り除かないでください。誤って取り除いた場合は、位置を推定してマークをしなければなりません。

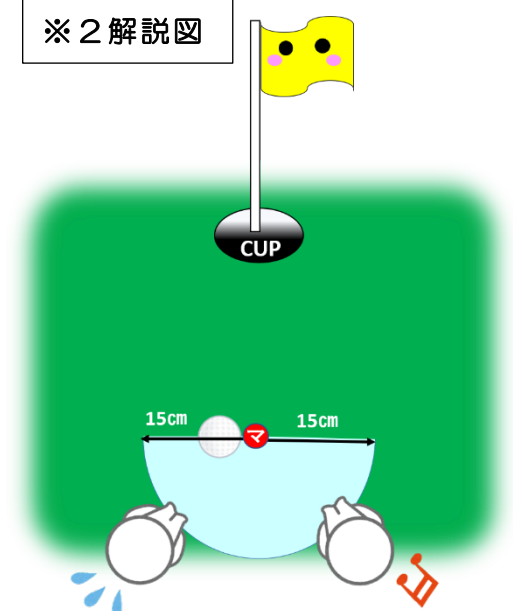
※ 4 解説図



・グリーン上では ～

1. グリーン上でも採用するボールを選択します。
- ※ 2. そのボールの横にマークし、ホールへ近づかない半径 15 cm の半円内にボールをプレースします。
3. グリーン上のボールをマークし、半径 15 cm の半円内にプレースする場合、その半径 15 cm の半円内にカラー（ジェネラルエリア）がある場合、そのカラーにプレースしてもかまいません。
 4. チーム 4 名のうち、誰かがカップインした時点でそのホールのスコアが確定します。ただし、プレーの進行を考慮し、1 人目が外した後で、2 人目が打つ前にカップイン（タッピング）させた場合、そのスコアは暫定スコアとなり、まだ打っていないプレーヤーがカップインさせた場合はそのスコアが採用されスコアが確定します。ほかの 3 名全員が外した場合は、暫定スコアが確定のスコアとなります。
 5. マークは最後の選手がボールをプレースするまで取り除かないでください。誤って取り除いた場合は、位置を推定しマークをしなければなりません。

※ 2 解説図



（注）悪天候等で、全チームが 18H 終了できない場合は 9H の成績で順位を決定することがあります。